

新年度が始まって 1 ヶ月ほどたちました。大学の流儀に馴染めていない場合には、すでに何らかの問題が生じていることもあるでしょう。「時間が解決してくれる」場合もありますが、「そうは問屋が卸さない」こともしばしばです。早めに対応することで、キャッチアップできたり、自分なりの大学生活を見つけ出したりできることもあるでしょう。

最初はよい試金石

授業が始まって 3 週間ほどたったでしょうか。大学の授業のやり方や進め方がわかってきたところでしょう。一週間の時間割り通りに授業を受ける負担感も実感されてきたことでしょう。早速、課題が出ている授業もあると思います。つまり、大学の流儀と自分とがマッチするのかどうか、データが出てきている時期と言えるでしょう。

たとえば、ある授業で 1 回欠席してしまったらそれ以降教室に入れなくなってしまうとか、課題がいくつか重なると何から手を付けていいかわからないとか、問題が出てきているかもしれません。

大学の授業が今の時点よりも簡単になることはありませんので、現時点で起きている問題は、今後も起こり続けると考えるのが現実的でしょう。その意味で、この最初の時期はよい試金石と言えます。



早めの対応で自分らしい大学生活を



秋学期になったら、来年になったら、また気持ちを入れ替えて頑張ろう、という考えもわからなくはないですが、問題は努力で解決するものとは限りません。努力で解決できないと、また同じような問題を繰り返す可能性があります。頑張ったのにうまくいかないことが続くと、心も挫かれてきます。せっかくの大学生活が苦痛なものになってしまいます。

そうなる前に、自分にとってほどよい大学生活のスタイルやペースを見つけられるといいでしょう。一般に推奨されるやり方が自分にも合っているとは限りません。合理的配慮を利用して学業に取り組みやすくなることもあります。大学ホームページの「学生サポート」に載っている窓口などを活用しながら、自分なりの大学の楽しみ方、味わい方を考えてみましょう。